

土地集約化のための離散最適化モデリング

吉本 敦 数理・推論研究系 教授

土地集約化: 近年、土地利用計画の様々な局面で、「ある条件に従って土地を集約する」作業が必要とされている。例えば、高い生産・管理費用が原因となり、持続的な資源生産管理が困難な中山間地域では、近隣の林地を集約して木材の伐採・搬出作業を行い、費用の効率化を図る取組が進められている。また、生息地の分断などが原因で、希少野生動物の個体数が減少している場合などでは、空間的に連続した生息適地の確保が望まれている。このような土地集約化問題は、集約化の目的・状態によって、結果として得られる土地の集約パターンは異なるものの、いずれも、「与えられた条件を満たす土地の集約化」を探索する点では同一のものであり、最適化のフレームワークを用いた解の探求が有効であると考えられる。

最適化モデルを応用したこれまでの研究: 土地集約化問題は、空間構造を扱った最適空間配置問題の1つと考えられる。例えば、森林計画の問題では、大規模伐地による森林環境の劣化を回避するため、隣接する林地同士を同時期に伐採しない管理空間配置の最適化が、80年代後半より取り組まれてきた(Nelson & Brodie, 1990; Clements et al., 1990; Nelson et al., 1991; Yoshimoto et al., 1994; Yoshimoto & Brodie, 1994)。この問題は管理する「土地を空間的に分散させる」という発想に基づくもので、それに対し「土地を集約する」という問題はその逆の対応であり、近年注目されている。

本研究の目的: 我々が、これまで取り組んできた、「ハイパーユニット」の概念を用いた離散最適化モデルによる土地集約化のアプローチを概観し(吉本ら,2010)、更に、新しい離散最適化モデルのアプローチを紹介する。

ハイパーユニット: すべての土地の管理ユニットに対して、生成される集約化パターンの候補。対象地のすべての管理ユニットに対して生成されるため、管理ユニット数と同じ数あるいはそれ以上のハイパーユニットが存在し、ユニット間に選択に対する重複が発生する。

従来のアプローチ: ハイパーユニットを用いた離散型最適化モデル

Step 1: 各ユニットに対してある条件を満たすハイパーユニットの生成(図1)
Step 2: 隣接制約を拡張し、ハイパーユニットの重複(図2)を回避するように定式化する。

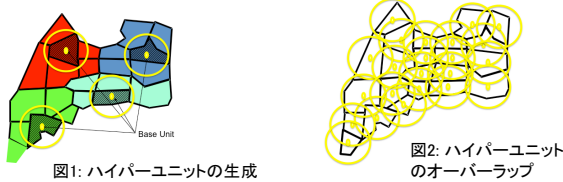


図1: ハイパーユニットの生成

図2: ハイパーユニットのオーバーラップ

$$Z = \max_x \text{tr}(\bar{C}'W) = \sum_{i=1}^m \sum_{j=1}^n (c_{i,j} \cdot x_{i,j} + \bar{c}_{i,j} \cdot y_{i,j})$$

st.

$$(A^0 \otimes I_n) \cdot \text{vec}(W') \leq 1_m$$

$$(1-\alpha)v_0 \leq \text{tr}(\bar{V}'W) \leq (1+\alpha)v_0, \quad p=1,2,\dots,T$$

$$[\bar{A} + \text{diag}(\bar{A} \cdot 1_{mm})] \cdot \text{vec}(W') \leq \bar{A} \cdot 1_{mm}$$

$$\bar{A} = A^s \otimes A^T$$

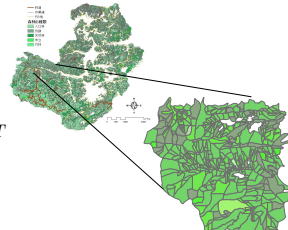
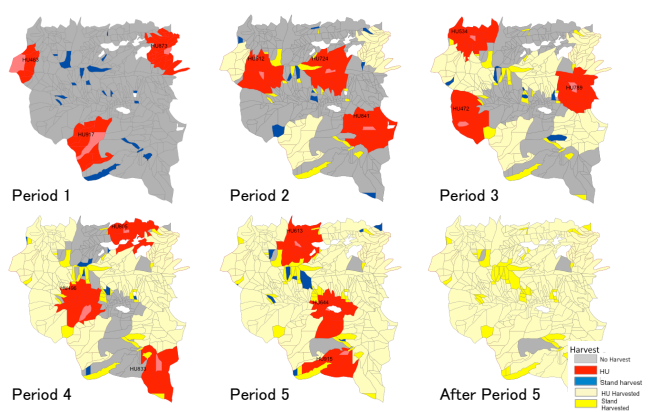


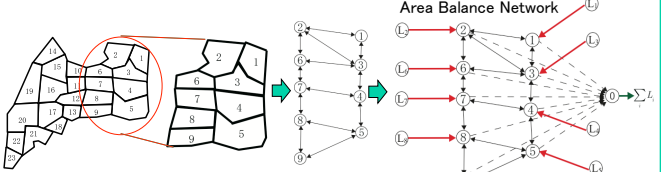
図3: 研究対象地(佐川町、高知県)

ハイパーユニットを用いた離散型最適化モデルの結果



まとめ: 従来のモデルでは、最適解の探索に2段階の作業を必要とした(第1段階: 既定ルールに基づき、候補となる管理ユニットの集合体を生じ、第2段階: 重複を回避する最適化により最適なパターンを選択)。それに対し、ここで考案したモデルでは、既定ルールによる集合体を生じることがなく、最適化のフレームワークにおいて、連続的な土地集約利用パターンを探索することが可能となった。

新たなアプローチ: Maximum Flow問題の応用



Area Flow Dynamics at i^{th} Node

$$y_{i,j} = \begin{cases} 1 & \text{if an arc is connected from } i\text{-th to } j\text{-th node} \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases}$$

$$w_{i,j}: \text{flow from } i\text{- to } j\text{-th node}$$

Network Connection Constrains

$$a_{i,j} \cdot y_{i,j} + a_{j,i} \cdot y_{j,i} \leq 1, \quad \forall i,j$$

With Super Node $y_{i,0} + \sum_{j=1}^n a_{i,j} \cdot y_{i,j} = 1, \quad \forall i$

$$a_{i,j} = \begin{cases} 1 & \text{if } j \in \text{NB}_i \\ 0 & \text{if } j \notin \text{NB}_i \end{cases} \quad \forall i$$

Area Flow Balance Constrains

$$w_{i,0} + \sum_{j=1}^n a_{i,j} \cdot w_{i,j} = \sum_{j=1}^n a_{j,i} \cdot w_{j,i} + L_i, \quad \forall i$$

Outgoing Flow $\sum_{j=1}^n w_{i,j} = L_i$

Incoming Flow $\sum_{j=1}^n w_{j,i} = L_i$

Aggregation Index Constrains

$$s_i = \begin{cases} 1 & \text{if nodes are aggregated to the } i\text{-th node} \\ 0 & \text{otherwise} \end{cases}$$

$$L_i - \bar{L} \leq w_{i,0} - \bar{L} \cdot s_i \leq L_i, \quad \forall i$$

$$w_{i,j} \geq L_i \Rightarrow s_i = 1$$

$$w_{i,j} < L_i \Rightarrow s_i = 0$$

Area Restriction Constrains

$$L_{\min} \cdot s_i \leq w_{i,0} \leq L_{\max} - (s_i - 1) \cdot \bar{L}, \quad \forall i$$

$$s_i = 1 \Rightarrow L_{\min} \leq w_{i,0} \leq L_{\max}$$

$$s_i = 0 \Rightarrow 0 \leq w_{i,0} \leq L_{\max} + \bar{L}$$

Area Flow & Arc Connection Constrains

$$a_{i,j} \cdot w_{i,j} \leq a_{i,j} \cdot \bar{L} \cdot y_{i,j}, \quad \forall i,j$$

$$a_{i,j} \cdot w_{i,j} > a_{i,j} \cdot (y_{i,j} - 1) \cdot \bar{L}, \quad \forall i,j$$

With Super Node $w_{i,0} \leq \bar{L} \cdot y_{i,0}, \quad \forall i$

$$w_{i,0} \geq L_i \cdot y_{i,0}, \quad \forall i$$

$$L = \sum_{i=1}^n L_i$$

$$Z = \min \sum_{i=1}^n y_{i,0}$$

$$y_{i,0} + \sum_{j=1}^n a_{i,j} \cdot y_{i,j} = 1, \quad \forall i$$

$$w_{i,0} + \sum_{j=1}^n a_{i,j} \cdot w_{i,j} = \sum_{j=1}^n a_{j,i} \cdot w_{j,i} + L_i, \quad \forall i$$

$$\sum_{i=1}^n w_{i,0} = \bar{L}$$

$$a_{i,j} \cdot y_{i,j} + a_{j,i} \cdot y_{j,i} \leq 1, \quad \forall i,j$$

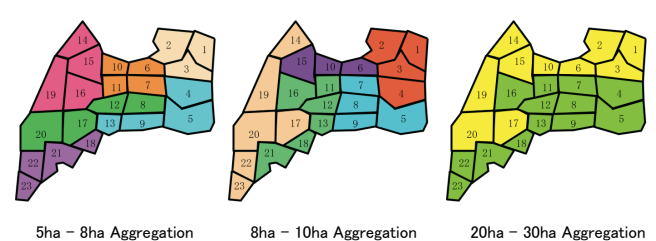
$$a_{i,j} \cdot (y_{i,j} - 1) < a_{i,j} \cdot w_{i,j} \leq a_{i,j} \cdot \bar{L} \cdot y_{i,j}, \quad \forall i,j$$

$$(y_{i,0} - 1) < w_{i,0} \leq \bar{L} \cdot y_{i,0}, \quad \forall i$$

$$L_i - \bar{L} \leq w_{i,0} - \bar{L} \cdot s_i \leq L_i, \quad \forall i$$

$$L_{\min} \cdot s_i \leq w_{i,0} \leq L_{\max} - (s_i - 1) \cdot \bar{L}, \quad \forall i$$

Maximum Flowモデルからの結果



引用文献: Clements, S.E., et al. (1990) *Can. J. For. Res.* 20: 1438-1447; Nelson, J.D. & Brodie, J.D. (1990) *Can. J. For. Res.* 20: 934-942; Nelson, J.D. et al. (1991) *For. Sci.* 37: 101-121; Yoshimoto, A. & Brodie, J.D. (1994) *Can. J. For. Res.* 24: 1277-1288; Yoshimoto, A., et al. (1994) *For. Sci.* 40: 365-396; 吉本ら (2010) *統計数理* 58: 113-126.